

☑ 知っておかなきゃ！  
.....  
研究公正のキホン  
.....

テーマ

【工学系】  
“オーサーシップについて”

# 共著者も 論文に責任を負う

point

・ 査読対応に至るまで共著者間で適切な情報共有を

・ 生成AIを利用するときには投稿規程等を確認しよう

さまざまな研究分野の研究者、大学院生などの若手研究者、企業の研究開発者などが論文の共著者になることが増えています。

複数の研究分野の特徴を活かすことで、社会的にもインパクトのある学際研究が推進されています。特に工学系分野では、人工知能（AI）の活用をふくめ、医工連携や企業との共同研究など、他の研究分野との研究が活発です。そのため研究に係わる研究者の数も多くなるため、論文では著者資格のほか、共著者間で適切なコミュニケーションをとることが重要です。

事例\*

責任著者だけでなくその他の共著者も、研究の内容のみならず、出版される論文の正確性に対しても責任を負います。たとえば本事例では、論文に掲載された図表において誤りが見られ、真正なデータの不正使用による改ざんが疑われるとの指摘があり、調査を行った結果、改ざんおよび盗用が認定されました。

本事例の発生要因では、図表の誤りについては論文作成過程から多数の指摘を受けていたにもかかわらず対応しなかったこと、論文の査読コメントへの対応、共著者の確認や意見を求めなかったことなどが指摘されています。このため、研究者としてわきまえるべき基本的な注意義務を著しく怠ったとして、研究不正があったと判断されています。

\* 研究活動上の不正行為（改ざん、盗用）の認定について、文部科学省「文部科学省の予算の配分又は措置により行われる研究活動において不正行為が認定された事案（一覧）」に掲載の事案より

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/jin\\_zai/fusei/1417292.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/jin_zai/fusei/1417292.htm)  
(参照 2024-9-1)

詳しくはウラ面へ→

**RISTEX**  
社会技術研究開発センター

本リーフレットは、JST-RISTEX 科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム（第3期：令和3～6年度）『研究分野の多様性を踏まえた研究公正規範の明確化と共有』JPMJRX21B5の支援のもと制作しました。

# 共著者も論文に責任を負う

## 【工学系】“オーサーシップについて”

### 1 IEEE (The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.) が示す著者の定義\*

IEEEは著者資格として次の3つを上げている\*。

1. 理論の構築、システムまたは実験の設計、プロトタイプ機の開発、データの分析と解釈において実質的な貢献をした
2. 論文の草稿や科学的知見にもとづく校閲 (レビュー) をした
3. 最終原稿の承認をした

この基準には満たないが論文において貢献した者は謝辞に含むこととし、論文に貢献したものを著者から省くことや、上記の基準を満たしていない者を著者に加えることは出版倫理違反となることが示されています。

出典

\* See sec.of Definition of Authorship, "Ethical Requirements", IEEE Author Center, <https://magazines.ieeeauthorcenter.ieee.org/get-started-with-ieee-magazines/publishing-ethics/ethical-requirements/> (参照 2024-9-1)

### 2 IEEE が示す責任著者の役割\*

著者が複数となる場合には、責任著者を共著者全員の合意のうえで決定することを求めています。責任著者の役割としては、

- ・適切なオーサーシップを確保すること
- ・投稿に対する全著者の同意をとること
- ・投稿後の論文の状況を共著者全員に連絡すること

とされており、共著者に共有すべき事項には査読者からのコメントも含まれています。

本リーフレットで取り上げた事例では、査読時に責任著者が共著者への確認を怠ったことも、研究者としてわかまえるべき基本的な注意義務を著しく怠っているとして判断されています。査読コメントへの対応は共著者全員で共有するようにしてください。

出典

\* See sec.of Authorship for articles with multiple authors, "Ethical Requirements", IEEE Author Center, <https://magazines.ieeeauthorcenter.ieee.org/get-started-with-ieee-magazines/publishing-ethics/ethical-requirements/> (参照 2024-9-1)

### 3 生成AIツールについて： Association for Computing Machinery (ACM) の「ACM Policy on Authorship\*」の場合

Nature\*\*やScience\*\*\*では、ChatGPTのような生成AIを著作物の著者に加えることを認めていません。同様に、Association for Computing Machinery (ACM) の「ACM Policy on Authorship」においても、生成AIを著者とするについて「ChatGPTのような生成AIツールや技術は、ACMで出版される著作物の著者として記載することはできない」としています。これは、論文に対する説明責任が著者には必ず発生しますが、生成AIツールはその責任を負えないためであると解釈することができます。

また、生成AIツールによって作成されたコンテンツを使用する場合は、論文内で明記することが求められています。たとえば「この著作物の一部 (テキスト、表、グラフ、コード、データ、引用など) を生成するためにChatGPTが使用されました。」と表記することが可能であるとしています。生成AIツールの使用の可否や表記方法については、学術分野や学術誌によって異なることもあるため、必ず学術誌のガイドラインやポリシー等の最新版を確認してください。

出典

-ACM Policy on Authorship#Association for Computing Machinery\_2024\*3, # <https://www.acm.org/publications-policies-new-acm-policy-on-authorship> (参照 2024' 9' 1)

XX\*See sec\*of AI authorship#Nature Portfolio# Springer Nature# <https://www.nature.com/nature-portfolio-editorial-policies-ai> (参照 2024' 9' 1)

XXX\*See sec\*of Image and Text Integrity#Science Journals/ Editorial Policies#Science# <https://www.science.org/content-page-science-journals-editorial-policies> (参照 2024' 9' 1)

#### プロジェクト紹介

科学技術イノベーション政策のための  
科学研究開発プログラム (第3期: 令和3~6年度)

### 研究分野の多様性を踏まえた 研究公正規範の明確化と共有

近年問題となることの増えてきた二重投稿や不適切なオーサーシップ等について、問題への認識は分野を超えて共通しています。しかし具体的にどのような行為を二重投稿や不適切なオーサーシップとみなすかについては、研究分野によって考え方や対応が異なることがあります。本プロジェクトでは、研究分野の多様性を踏まえて、研究公正規範の明確化と共有を図る仕組みづくりを目指しています。

